

ある石工たちの話

ある人が道を歩いていると、石工たちが石を運んでいた。

「何をしていますか？」その人がたずねると、1人目の石工が言った。

「見りゃわかるでしょう。石を運んでるんですよ。朝から晩までね」
やってられないと言わんばかりに、はき捨てるように。

2人目の石工が通りがかったので、同じ質問を試みた。すると、石工は答えた。

「教会を建てているんですよ。すごくきつい仕事でね」その表情は、つらそうだった。

ふと目をやると、やけに動きのいい石工がいたので、訊いてみた。

「何をしていますか？」
すると、汗を気持ちよさそうにふきながら、話してくれた。

「ええ、教会を建てているんです。これができたら、みんなが集える場所ができて、
町の人たちの暮らしがもっと心豊かになるでしょう？完成が楽しみなんですよ」

汗の光る笑顔を見ているだけで、楽しさが伝わってくるようだった。
3人とも、同じ仕事をしている。でも、3人とも、違う仕事をしている。
異なるのは、やはり、ものの見方。何を見て、どこから見て、その仕事をしているのか。

石を見ているのか、教会づくりの作業を見ているのか、
それとも、町の人たちが楽しそうに集っている未来を見ているのか

それによって、仕事の仕方も、そして、たぶん生き方も、変わるはず

4人の友人が X-1で 送ってくれました。

何か 変わり そうですね ☺